

研究者キャリアの 新しい選択肢

第3回

2026.9.30 (水) 18:00~20:00
(17:30開場・受付開始)

中妻 啓氏

株式会社CAST 代表取締役社長

東京大学情報理工学研究所修了(博士(情報理工学))。2012年より熊本大学助教。大学での研究成果の事業化・社会実装を目指し、2019年に株式会社CASTを共同創業。「物理現象のすべてをデータ化し、センサー前提の社会を創造する」をビジョンに、IoT・AI時代における正確な物理量計測を実現するセンサーシステムの事業領域とし、現在、製造業領域の配管点検の課題を解決する配管減肉モニタリングシステムULTRACKを展開中。

同社は、大学発の研究成果をもとに創業されたスタートアップであり、フレキシブル性と耐熱性を備えた薄型の超音波センサーを核とするセンサーシステムを開発しています。登壇する中妻氏は熊本大学助教として研究に携わる現役研究者であり、2015年からのNEDOプロジェクトを契機に、研究成果の社会実装と事業化に取り組まれています。

研究者出身CXO
【センサー技術】



栗井 浩史氏

有限責任監査法人トーマツ
パブリックセクター・ヘルスケア
事業部 Education Function
リーダー パートナー 公認会計士

20年以上にわたりパブリックセクターの監査やアドバイザリー業務を行い、文部科学省や大学等に対する経営戦略、産学官連携、学校統廃合等のプロジェクトをリードしている。公的委員として、現在、内閣府/沖縄科学技術大学院大学学園の今後の在り方に関する検討会構成員や文部科学省/研究支援サービス認定制度有識者会議委員ほか大学認証評価委員等の公的役職を担当し、日本公認会計士協会の公職としては、現在公会計委員会副委員長(国立・公立大学法人分科会長等を歴任)。

専門家



講演タイトル

大学・企業・社会、それぞれの
意思決定の軸を理解する
〜エコシステムの持続的発展を実現
するためのDecision Making〜

研究成果が社会実装へ向かうとき、そこにはどのような技術転換と事業化の挑戦があるのか。
製造業の現場課題に応えるセンサーシステムを例に、研究者としての選択肢の広がりを考えます。

開催方法 ハイブリッド開催【会場定員20名、オンライン定員30名程度】

会場 室蘭工業大学 T棟 T201室(Monoづくりみらい共創機構 2F会議室)(室蘭市水元町27-1)

内容 登壇者による講演、トークセッション ほか(終了後、会場参加者を対象に名刺交換の時間を設ける予定です)

研究成果の社会実装は、研究の発展や将来のキャリア形成につながる選択肢の一つです。

本イベントでは、研究を基盤に社会実装へ取り組んできた研究者や専門家を迎え、そのきっかけや挑戦の過程、研究活動やキャリアに生じた変化を共有し、研究者としての新たな可能性を考えます。

参加申込 ▶

<https://forms.gle/4gW9vSFDaYo4BRZa7>

申込期限

2026.9.30 (水) 12:00



研究を続ける、その先の選択肢に触れる